



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★音楽之友社

- スクリヤービン エチュード集 ニュースタンダードピアノ曲集
アレクサンダー・サツ編 本体1900円+税 8月下旬発売予定
エチュードの全曲を収録。自筆譜や初版本を比較校訂。巻末にはスクリヤービンの生涯と作品の解説も収録した。

- どんどんぐるぐるびあの

- 伊藤康英 編 1400円+税 8月下旬発売予定
大縄跳びのように、演奏者が次々と交替する本書は、ピアノの楽しみ方を革命的に変える楽譜として現在話題沸騰中です。

★カワイ出版

- ロシア音楽事典

- 日本・ロシア音楽家協会 編 森田稔 千葉潤 編集責任 3800円+税
日本におけるロシア音楽の多面的で複雑な諸相を、一冊の本の中にコンパクトに俯瞰しようとする初の試みです。20代から70代に至る30名を超える専門家による執筆陣です。

- カワイグレードテスト受験のために(課題例集)

- ★ピアノ・音楽教育編

- ★ポピュラーピアノ・ドリマトーン編

- カワイグレード認定委員会編 本体 各1400円+税 8月上旬発売予定
最新のカワイグレードテスト課題例集。課題例、解答例、演奏例を収録

★全音楽譜出版社

- マイカパル ピアノ小品集 全音ピアノライブラリー

- 村手静子 校訂・解説 本体1400円+税
作曲家で優れた教育家マイカパルのこの小品集は大切なピアノニズムを養うためにロシアで広く使われている初級用のすぐれた教材です。

- スメタナ ピアノ作品集 第2巻 全音ピアノライブラリー

- ヤン・ホラー校訂・解説・運指法 ホラー・井上道子日本語訳/補筆 本体2200円+税
スメタナの重要なピアノ曲と知られざるピアノの傑作を収録しました。各曲には演奏へのアドヴァイスと解説が付されています。ヤン・ホラーはチェコ生まれのピアニストで教育者です。

★ドレミ楽譜出版社

- よいこのピアニスト 1, 2 レッスンでもひける

- 加賀美江 編 本体900円+税 8月中旬予定
本書はTVや学校・幼稚園など子供達が毎日の生活の中で耳に馴染み、親しんでいる曲を集めて弾いて楽しむだけでなくレッスンに効果的に取り入れられるように様々な工夫を凝らした新しい併用曲集です。

- 演奏会のための 世界の名曲ピアノ曲集 パイエル中級からブルグミュラー程度

- 杉本憲一編 本体1400円+税 8月下旬発売
世界の名曲を厳選したピアノ曲集です。パイエル中級からブルグミュラー程度の弾き応えのあるピアノソロアレンジで、演奏会に最適です。

★ミュージックランド

- はじめての大人のピアノ教本

- 新・楽譜と鍵盤【増補版】

- 大崎妙子・大崎延子共著 本体1600円+税
8月上旬予定
指の練習にもなるわかりやすいピアノ曲集のコーナーも追加して増補版として出版します。

- 華麗なる演奏会用

- クラシックピアノ曲集

- 奏法解説：大崎妙子 本体1700円+税
8月中旬予定
大崎先生による奏法解説付きクラシックピアノ曲集です。
演奏会に適した曲を中心に収録しました。



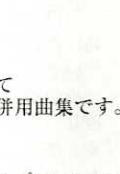
スクリヤービン
エチュード集
(音楽之友社)



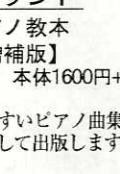
どんどんぐるぐるびあの
(音楽之友社)



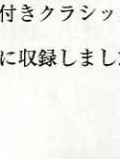
ロシア音楽事典
(カワイ出版)



よいこのピアニスト
(ドレミ楽譜出版社)



華麗なる演奏会用
(ミュージックランド)



はじめての大人のピアノ教本
(ミュージックランド)

第66号

(2006年8月)

3歳からの音楽ドリル「くっきいらんど」

おおさき たえこ

大崎 妙子

「これ何の音?」「わかんない」「ここがドだから...」「もう、あきちゃった」「がんばったら上手になるよ」「もうピアノやめる」

音楽教室も随分様変わりしてきました。いろいろな意味で子供の能力が落ちたと言われています。しかし世の中が便利になればなるほど楽で安易な方を選び、努力することや面倒なことを避けるのは子供に限ったことではありません。そのような中で音楽教室にきた子供達に読譜をさせるのが大変になってきたと思われるレスナーの方も多いことでしょう。

そこで読譜の中で最も基本的な「音」と「リズム」にしぼり、遊び感覚でできるドリルを作りました。ちょうど一般書店で販売されている「迷路」や「すうじ」のドリルのようにやっとならぬものをつくることのできる幼児から始めることができます。一般ドリルのように同様な問題を何度も繰り返してゆっくり進んでいますので子供たちも難しさを感じず確実に理解できます。(例えば「音1」は「一点ハ〜ソ」のみ。70ページです)

このような方法ながらステップ3まで終わると「音」は「ハ音記号〜ト音記号」(早く読むコツも有)「リズム」は16分音符のバリエーションまで理解

できるようにしました。ドリル終了時には楽譜がスラスラ読め、音符に対する恐怖感がなくなります。不器用で指が動きにくい子にも「ピアノは思うように弾けないけど楽譜は読める!」と好評です。是非お試しください。



3歳からの音楽ドリル
くっきいらんど
リズム-1 (シール付)
ミュージックランド刊
定価: 945円 (税込)
菊店横 全80頁



3歳からの音楽ドリル
くっきいらんど 音-1
(シール付)
ミュージックランド刊
定価: 998円 (税込)
菊店横 全80頁



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★ショパン

- ショパンについての覚え書き(書籍) アンドレ・ジッド著 中野真帆子編訳 本体1500円+税 8月上旬予定
フランスを代表するノーベル賞作家によるショパンの音楽について深く考察した評論集です。他に青柳いづみ氏の解説も収録。

★サーベル社

- 小学生のためのおんぷワーク・ブック③ 遠藤蓉子著 本体950円+税
純粋に音符を覚えるためのワークブックの第三巻です。小学生の皆さんの知的欲求に応える設問形式を採っていますので先生も赤ペンで採点してあげてください。

★共同音楽出版社

- ピアノトレイン 3rd Station 音感メソッド研究会著 本体1200円+税
シリーズ3冊目では、今までに学んだ音価を色々なリズムの曲を演奏して応用力を養います。

ピアノ指導の 現場から

ピアノの「音色」あれこれ 第3回「古典期その1～楽器の進化とともに」

古典期の作曲家として特に名高いハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン。彼らの作品には共通点がある一方で、それぞれ強い個性も感じられます。「音色」の印象のちがいが、3人の特徴を味わい表現する重要なポイントだと言えるでしょう。

これから2回にわたり、古典期のピアノの音色について考えていきましょう。まずは、当時の楽器の事情についてです。ピアノが発明されたのは1709年。イタリアのクリストフォリが発明したこの楽器は画期的なものでしたが、まだ音が鈍く、タッチも重いという印象だったそうです。しかしその後の進歩はめざましいものでした。古典派のころは、まさにピアノの性能が年々大きく改良されていった時代なのです。

◎ハイドンの鍵盤作品…ピアノが音楽史の表舞台に登場

1732年生まれハイドンは、長らく鍵盤作品をクラヴィコード又はチェンバロのために書いていました。「フォルテピアノのための」と初めて書かれたソナタは1780年に出版されましたが、それ以前の作品にもピアノを思わせる強弱記号がちらほら見られ、彼がピアノを想定して作曲していた頃からだったか完全には明らかになっていません。

実はこれより前の1778年にファンメルによって編集されたハイドンのソナタ集に「ピアノフォルテのための」という表示があるそうですが、これは楽譜の売り行きを考えて出版社が勝手に書き加えたようです。ピアノの価値が次第に上がっていく様子がうかがえます。

その後1788年に、ハイドンはシャンツ製のピアノを購入し、大変気に入ったと言われています。ある夫人に宛てた手紙の中に「このソナタ (Hob.XVI/49) は…感情が豊かです。残念なのは奥様がシャンツ製のピアノをお持ちでないことです。この楽器なら倍の効果が得られるでしょうに…」と書いています。

◎モーツァルトの演奏旅行と楽器

1756年生まれのモーツァルトは幼少のころから演奏旅行が非常に多く、そのため各地で製作された新作ピアノに触れる機会も多かったようです。当時は各地の楽器製作者たちが、さまざまに異なる仕組みのピアノを製作しており、それらはモーツァルトを大いに刺激します。

旅先で出会ったピアノに感激した様子を、高ぶった気持ちで記した手紙が残されています。1777年アウグスブルクでシュタイン製ピアノを弾いたときには、詳細にアクション機構のすばらしさを書き綴っています。「震えもしなければ、強すぎたり弱すぎたりすることなく、まして音が出ないということもない…シュタインはそのピアノを1台300グレン以下では売らないのも確かだが、それでも彼が払った労苦と努力が報いられたとは言えない。」彼の言葉からは、ピアノの性能が年々向上していた輝かしい時代の息吹が感じられます。

◎ベートーヴェンの引越しとピアノ

1770年生まれのベートーヴェンは、引越しまででした。これが実はピアノの改良に関係があります。

ベートーヴェンが引越しをくり返した理由は2つ。

一つは、ひんぱんに住処を変えていないと彼の作品を家の外で聞いて盗作する輩がいたため。もう一つは、彼が夜中に大声を出したり大音量で楽器を弾いたり歌ったりする奇行(?)を繰り返したため引越せざるを得なかったという点です。

さて、引越し先のピアノはどうしたのでしょうか？彼には、なんと楽器製作者たちから新作ピアノがプレゼントされたのです。ピアノの音域は拡がり、音質は太く力強くなり、タッチの変化はより多彩になって行きます。楽器製作者たちも、尊敬するベートーヴェン先生に新作ピアノを試してもらったというわけです。

彼のピアノソナタ集は楽器の履歴書です。彼の要求は、常に当時の楽器の性能を超えるところにありました。その要求に応えようと新機軸を打ち出す楽器製作者たち。新作の楽器に触発されて、さらにその性能をも超えた着想を持つベートーヴェン。両者の関係は、まるでらせん階段を登るようにダイナミックなものでした。

プロフィール

全国各地でコンサート、講座等を行い、特に1999年よりスタートしたトークコンサートは好評を博す。最近ではビティナ・ピアノステップでのオプションコンサートや、ピアノの四期、作曲家の生涯などについてのトークを交えてのコンサート等を展開中。2004年、舞曲を集めたCD「舞」をリリース。東邦音楽大学、東邦音楽短期大学講師。社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員。
国谷尊之ホームページ
<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~alvento/>

☆国谷尊之のレクチャーコンサート☆

東邦音楽大学エクステンションセンター公開講座
「生涯250年～モーツァルトの華麗な変奏技法」

【日程】2006年9月16日(土)

【時間】13:00～15:00

【会場】東邦音楽大学大塚キャンパス「50周年記念館」

【演奏曲目】

モーツァルト：サリエリの主題による変奏曲 ト長調 K.180 (173c)
ソナタ イ長調 K.331 (300i) 「トルコ行進曲付」

内容詳細は、上記国谷尊之HP

または、東邦音楽大学エクステンションセンターHP
http://www.toho-music.ac.jp/extensioncenter/index_j.html

【お申込み・お問合せ】

東邦音楽大学エクステンションセンター 電話：03-3946-9667



くにや たかゆき
国谷 尊之

～連載～ ピアノレッスンの今後

♪♪♪Music Key Lesson レポート♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

ミュージックキーでは先日から、楽典試験に向けての準備を始めました。これは、以前にお話しました『ミュージックキー認定試験』の中の楽典部門です。目的は、ピアノを弾くだけでなく、音楽の理論も含め“生徒に長く音楽を続けてほしい”そんな願いから作られたものです。

この認定試験は、生徒だけでなく指導者にとっても、身近な目標となります。そして日頃のレッスンをストップしないで進めていけるという点が大きな利点であり、多くの先生方が実践しそれぞれに確かな成果をあげられているようです。

そんなわけで、私たちもこの夏に向け、約1ヶ月ほどの時間をかけ、個々の生徒の楽典力(演奏や学校の授業に役立つ)をチェックしていこうと思っています。まずレッスンの内容や進め方など計画をたてました。

- ①個々の生徒の目指す“級”の確認。
- ②類似問題による個々のチェック
- ③理解不足の内容を再確認
- ④覚える内容は毎週反復
- ⑤試験をする日
- ⑥試験の採点
- ⑦間違えた所の再確認

…以上のような流れを踏まえ、ピアノレッスンを妨げない範囲でレッスン前後に進めていこうと考えています。

小学校高学年や中学生などは、学校のテストにも役立つということで、親御さんからも喜ばれています。演奏はもちろんですが、やはり親の気持ちとしても「せっかく、ピアノに行かせているのだから学校の音楽は良い成績に…」と思われているのが本音ではないでしょうか。

私たちピアノ教師も、学校の音楽の成績がどの程度かぐらひは把握したほうが良いのかもしれませんが、なかなか練習時間のない生徒でも、ピアノの時間を邪魔せずに楽典的な補強ができるというのは上記のような形で可能です。もちろん、弾けている生徒でも楽典的なことが弱いなどということもあり、意外な発見もあります。認定試験の楽典結果はのちほどの号で。

(ミュージックキー認定試験については右記に紹介しました「導入指導マスター講座/ディプロマコース」にて詳しい説明があります。)

★講座のご案内★

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」
今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない/親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】第10期 9/8、10/6、11/10、12/8、1/12
(毎回金曜日) お申し込みはお早めに！

【会場】東京芸術劇場第5会議室
(池袋駅西口徒歩3分) 10:00～12:00

【多治見】9/5、10/3、11/7、12/5
(毎回火曜日) 10:30～12:30

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」
これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【東京】第8期 9/7、10/5、11/9、12/7、1/11 (毎回木曜日)
【会場】東京芸術劇場第5会議室 10:00～12:00

【筑波】9/14 10:30～12:30

【名古屋】9/6、10/4、11/1、12/6
10:00～12:00

【姫路】9/15、10/13、12/1、1/19 9:50～11:50

講師：田村智子

●ピアノ教師のための指導認定講座

導入編 「10/26・12/7・1/18 大分」

基礎編 「9/13・11/22・1/10 広島」
「9/20・10/18・11/15 名古屋」

応用編 「10/19・11/16・12/14 福岡」
「12/13・1/17・2/14・3/14 名古屋」

●フレッシュな風を送る新しい切り口のメソッド(日本初)

「9/8豊橋」「9/14千葉」「9/25千葉」

●STOP! さぼる生徒・さびるピアノ

「9/28大分」「10/23町田」

上記講座に関しましてのお問合せ：
ミュージックキー055-989-3900 担当：植松
詳しいことは<http://sound.jp/musickey/>へ。

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3666-2221 (業務部) TEL 03-3666-2224 (営業部)
FAX 03-3666-2222 <http://www.prima-gakki.co.jp/>

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所
〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名歌西1階 1A
TEL 052-456-2630 FAX 052-456-2636